

令和4年度山県郡中学校各大会実施上の 感染拡大予防ガイドライン

1 大会実施に当たっての基本的な考え方について

大会実施に当たっては、次のことを基本とする。

- (1) 感染源を絶つ。
- (2) 感染防止の3つの基本を徹底する。
 - 身体的距離の確保
 - マスクの着用
 - 手洗い・消毒の徹底
- (3) 3つの「密」（密閉空間，密集場所，密接場所）を回避する。
- (4) 安全な活動環境等の確保を行う。

2 大会実施時の感染防止策について

(1) 感染源を絶つ

- 監督等は、大会当日の朝、家庭での検温及び保護者からの報告（健康観察カード等）を行い、発熱等風邪の症状（咳，鼻汁，咽頭痛，頭痛等）がある生徒や体調がすぐれない生徒がいる場合は、大会参加を見合わせるよう指導する。

大会関係者（監督，コーチ，役員（外部審判含む））についても、発熱等風邪の症状（咳，鼻汁，咽頭痛，頭痛等）がある場合や体調がすぐれない場合は、大会参加を見合わせる。
- 監督等は、集合時，ウォーミングアップ終了後，試合前後，昼食時，解散時等，生徒の健康観察を徹底する。
- 大会中，生徒や大会関係者に体調不良がある場合は，大会本部に申し出る。

(2) 感染防止の3つの基本

ア 身体的距離の確保

- 大会関係者は，生徒の集合時，待機中，休憩中及び食事中などにおいて，生徒同士の間隔を，できるだけ2メートル（最低1メートル）空け，会話を控えるよう指導する。
- 監督会議等を実施する場合，人と人との間隔が，できるだけ2メートル（最低1メートル）空くよう，椅子の配置を広くするなどの工夫をする。
- 対戦相手や審判等との握手，仲間と手をつないだり肩を組んだりして行う円陣，ハイタッチなどの身体接触を伴う行為及び歌唱や大声での声援は行わない。
- 飲料ボトルやタオルなどは共用せず，個人専用のものを使用する。

イ マスクの着用

- 大会中，生徒及び大会関係者は，基本的にマスク等を着用し，咳エチケットを徹底するよう指導する。ただし，競技中や熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は，マスクを外すよう生徒に指導する。

ウ 手洗い等の徹底

- 監督等は、集合時（バス等での移動の前も）、更衣後、ウォーミングアップ終了後、試合前後、昼食前後、解散時等、こまめに、流水と石けんで手洗いを行うよう、生徒に指導する。

(3) 3つの「密」(密閉空間、密集場所、密接場所)の回避

- チームでまとまって会場へ移動する場合、引率者等は、バス等の車内が、密閉空間にならないよう、運転手と連携し定期的に換気をしたり、可能な限り座席を離したりするとともに、マスクを着用させ、会話を控えるよう指導する。
- 屋内競技の会場は、可能ならば扉や窓を常時開放する。会場や競技の特性上難しい場合は、定期的に会場のドアや窓を開け換気を行うなどの工夫をする。
- ベンチやウォーミングアップゾーン、観客席等において、椅子の間隔を広げるなど、一定の距離（できるだけ2メートル（最低1メートル））をとれるよう措置を講じる。

(4) 安全な活動環境等の確保

- 消毒液を、会場入り口を含む複数か所に設置する。
- 各会場において、施設と連携し、状況や各競技特性に応じた適切な感染防止策を講じる。

3 その他

- 各競技において、特性に応じて、試合数、試合時間の短縮、特別ルール等を検討し、感染症予防の対応を行う。
- 大会参加者(各競技の参加申込書に記載されている者、大会役員、参加校が許可した写真撮影者)以外の各競技会場への立ち入りについては、大会実施時期の感染状況や各会場の入場者数の上限等を参考にした上で、競技ごとに部会長と専門委員長を中心に協議・決定し、参加校へ通知する。
- 全参加チームによるトーナメント戦やリーグ戦を行わなくとも、得失点差等をもとに順位をつける等、できるだけ表彰できるようにする。賞状の授与については、山県郡中体連要項に記載してある「各種大会統一規定」の通りとする。
- 大会当日における天候等による開催可否の判断については、山県郡中体連要項に記載してある「各種大会統一規定」の通りとする。
- 本ガイドラインは、感染の状況等に応じて、内容を加筆・修正することがある。